

なぜ田んぼには 多様な生き物がすむのか

大塚泰介・嶺田拓也 編

A5判並製 320頁 予価：本体3200円+税
ISBN978-4-8140-0285-6 C1045

刊行予定：2020年10月27日 条件：新刊委託

読者対象：教養～専門

おすすめの棚：生物学

おすすめ度：★★★☆☆

◎人がつくる環境の豊かな生物多様性

田んぼという人工的で新しい環境にさまざまな生き物が暮らしているのはなぜだろう？ カエルや魚類、昆虫のような目につく生き物はもちろんのこと、イタチムシなどあまり知られていない生物にも焦点を当て、多様で複雑な生物間相互作用を解き明かす。そして、その相互作用を利用した総合的害虫管理、さらには総合的生物多様性管理を考える。

◆大塚泰介：滋賀県立琵琶湖博物館学芸員

嶺田拓也：農業・食品産業技術総合研究機構上級研究員

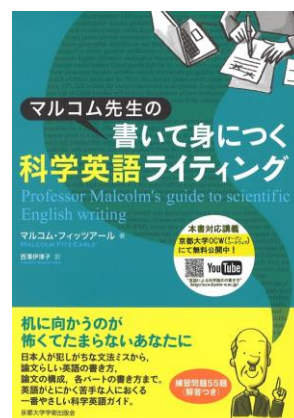
* 増刷 *

マルコム先生の書いて身につく 科学英語ライティング

マルコム・フィッツアール 著／西澤伊津子 訳

日本人が犯しがちな文法ミスから、論文らしい英語の書き方、論文の構成、各パートの書き方まで。書き込み式の練習問題つき。

B5判並製 110頁 定価：本体 2900円+税
ISBN978-4-87698-890-7 C1040



注文書 8月号④

お申込みは→ 京都大学学術出版会

FAX：075-761-6190

番線印	冊	新刊委託指定	京都大学学術出版会 発行/発売
	ご担当様		なぜ田んぼには多様な生き物がすむのか 【10/15 締切】 ISBN 978-4-8140-0285-6 C1045 予価：本体 3200円+税 京都大学学術出版会 発行/発売
番線印	冊	注文扱返条付	京都大学学術出版会 発行/発売
	ご担当様		* 増刷 * マルコム先生の書いて身につく 科学英語ライティング 【随時】 ISBN 978-4-87698-890-7 C1040 定価：本体 2900円+税